

訪問看護ステーション連携加速化事業

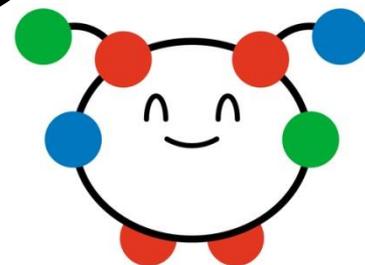
「病院看護師の研修受入事業」報告

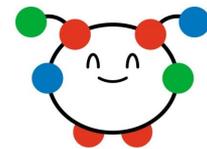
(2019年10月1日～31日)

2020年3月20日 (金)

南砺市訪問看護ステーション

清水 阿佐美





1. 事業概要

【目標】

1. 訪問看護の役割と必要な支援を学ぶことができる
2. 事例を通して看護展開ができる
3. 連携の実際を学ぶことができる



【スケジュール】

8月末：事前打ち合わせ
研修生・看護部長
指導者・管理者

10月1日：オリエンテーション

10月1～3週目：

同行訪問

退院前カンファレンス

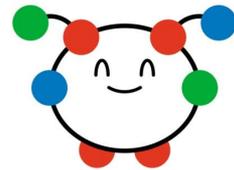
地域個別ケア会議

サービス担当者会議

10月4週目：事例展開

10月5週目：発表と振り返り

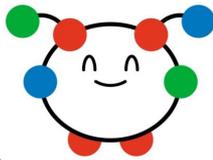
II. 研修内容（同行訪問）



- 同行訪問件数：78件／21日間（3.7件／日）
- 利用者の疾患：慢性疾患（心不全）、難病、脳血管障害、悪性腫瘍（終末期）、認知症、乳幼児（障害児）等
- 医療的処置：尿道留置カテーテル、HOT、経管栄養、褥瘡、人工呼吸器、CVカテ、ストーマ、末梢点滴等
- 中山間地域・南砺市全域エリア・軽費老人ホーム
- 理学療法士等との同行

II. 研修内容

(地域包括ケアシステムでの連携)



住まい・医療・介護・予防・生活支援

1. 医療（病院）との連携

退院前カンファレンス（3件） 緊急訪問（1件）

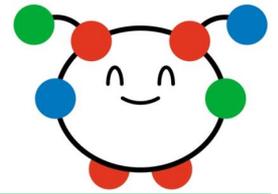
2. 多職種（介護）連携

定期巡回随時対応型訪問介護看護連携（5件同行訪問）

サービス担当者会議参加（1件）

地域個別ケア会議参加（介護予防）

II. 研修内容（事例展開）



【事例紹介】

80歳代女性、要介護4、長男と次男の3人家族
膀胱結石で尿道留置カテーテル挿入(22Fr) 1回/週交換、
膀胱洗浄3回/週実施、水分量コップ4杯/日、尿量1L～2L/日
緑茶を飲んでもミカンを食べても「しょもない」と言う
義歯の汚染あり

【病院看護師として】 → 医療処置の管理

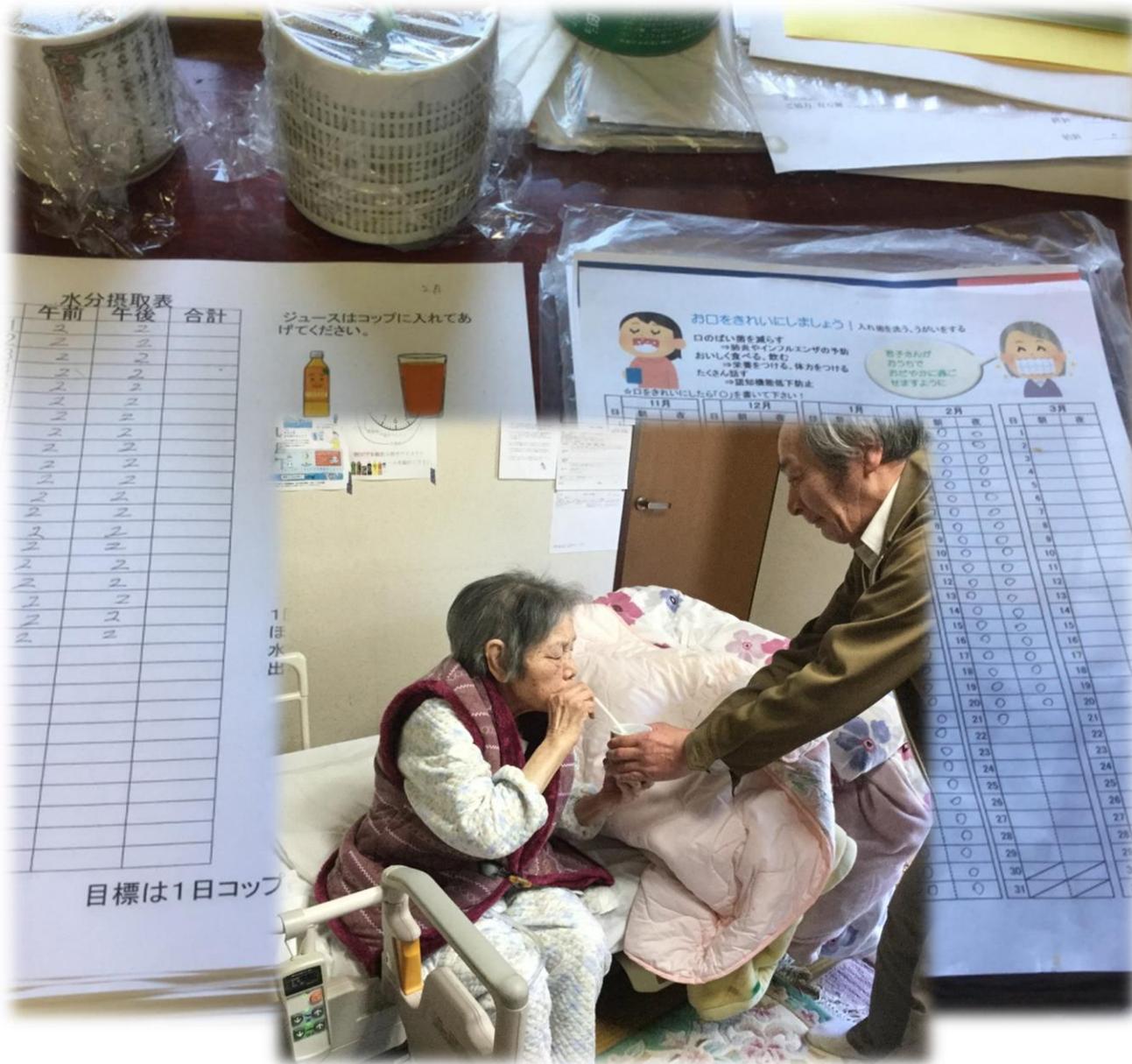
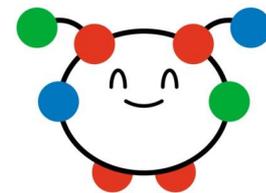
医療的処置（尿道留置カテーテル管理）に対する退院指導が中心

【訪問看護師と同行して】 → 生活介護

在宅療養を継続する上で経口から食事・水分を取ること。

そのための口腔機能維持に対して口腔ケアの必要性や家族アセスメントし指導する

あれから5ヶ月



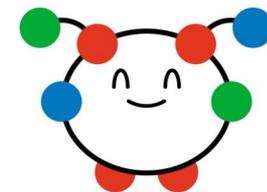
～バルン閉塞疑いの対処方法～

- ・袋の管部分(透明)をふってみる
- ・尿管(茶色)を指で何度かギュっとつまんでみる
- ・体の向きを何度か左右に変えてみる
- ・座ってもらい水分を摂ってもらおう

ねる前にも口をきれいにしましょう ☆

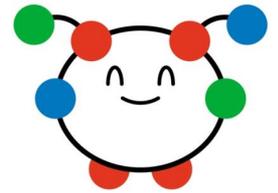


Ⅲ. 結果

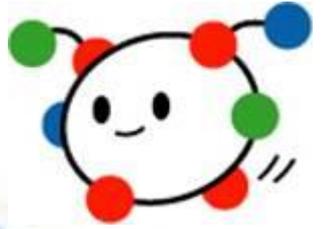


1. 当ステーションの特徴である
全世代・多様な状態の利用者への訪問
 - ①0歳～100歳超
 - ②中山間地域（広範囲な訪問エリア）
 - ③リハビリとの訪問（3職種）
 - ④介護予防から医療ニーズの高い重度者の対応
（終末期含む）
2. 多職種での連携
3. 生活の視点
4. セルフケアと自立支援の視点
5. 本人・家族に対する支援

IV. 課題



1. 訪問看護が初回訪問するまでの在宅への移行期
：連携の強化
(安心・安全な在宅療養への移行が可能)
→退院後訪問指導料
2. 在宅療養中も自己決定とインフォームドコンセントの
支援 (意思決定支援)
3. 訪問看護における技術面の実践
4. ステーション内のチームカンファレンスの参加
5. 市町村におけるサービスの把握
(フォーマル・インフォーマル)



ご清聴ありがとうございました

